

障がい者施策に関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
障がい福祉課	2020年07月08日から 2020年07月29日まで	952	621	65%

三重県では、障がいの有無によって分け隔てられることのない共生社会づくりをめざし、「みえ障がい者共生社会づくりプラン」を策定し、計画的に取組を進めています。そのための基礎資料として、障がい者施策に関するアンケートを行います。

■ Q1 障がいの理解について

あなたは、障がいについて、どの程度理解していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	621	
障がいの種類や程度などを人に説明できる	134	21.6%
言葉の意味はわかるが、詳しい内容は知らない	403	64.9%
言葉を聞いたことがあるだけで、あまりわからない	73	11.8%
わからない	7	1.1%
その他	4	0.6%

■ Q2 障がいを知る機会について

あなたは、障がいや障がい者について、どこかで学んだり、聞いたりしたことはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	621	
家庭	149	24.0%
地域	137	22.1%
学校	227	36.6%
職場	237	38.2%
テレビ・新聞・雑誌	357	57.5%
インターネット	189	30.4%
県や市町のパンフレットやホームページなど	110	17.7%
その他	24	3.9%

わからない	13	2.1%
学んだり、聞いたりしたことはない	36	5.8%

■ Q3 障がい者に対する差別・偏見について

あなたは、障がい者に対して差別や偏見の意識を持ったことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	621	
現在も持っていると思う	31	5.0%
そういう意識がないとは言えない	279	44.9%
過去に思ったことがあるが、今は持っていない	125	20.1%
そのような意識は持ったことがない	153	24.6%
その他	7	1.1%
わからない	26	4.2%

■ Q4 障がい者への差別・偏見のない社会について

あなたは、障がいのある人に対する差別や偏見のない社会になっていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	621	
そう思う	16	2.6%
どちらかといえば、そう思う	146	23.5%
どちらかといえば、そう思わない	277	44.6%
そう思わない	157	25.3%
わからない	25	4.0%

■ Q5 障がい者への差別・偏見を感じる場面について

Q4で「どちらかといえば、そう思わない」または「そう思わない」と回答された人にお聞きします。あなたは、社会のどのような場面において差別や偏見が残っていると感じますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	434	
親戚つきあい	73	16.8%
近所つきあい、地域活動	165	38.0%
店舗（接客対応・態度・建物）	194	44.7%
教育関係（学校・同級生・保護者等）	199	45.9%

就労関係（待遇・労働条件等）	328	75.6%
公共施設（建物・道路・交通機関等）	209	48.2%
その他	10	2.3%
わからない	14	3.2%

■ Q6 障がい者に対する理解について

あなたは、以前に比べて障がい者に対する理解が進んでいると感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	621	
感じる	82	13.2%
どちらかといえば感じる	409	65.9%
どちらかといえば感じない	60	9.7%
感じない	27	4.3%
わからない	43	6.9%

■ Q7 障がい者差別の解消に関する県条例について

三重県では、障がいのある人もない人も、互いに人格と個性を尊重し合いながら共に暮らせる社会をめざして、「障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例」を平成30年10月から施行していますが、あなたはこの条例を知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	621	
名前も内容も知っている	27	4.3%
名前のみ知っている	125	20.1%
知らない	469	75.5%

■ Q8 障がいのある人への合理的配慮について

あなたは「障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例」でも規定されている、合理的配慮について知っていますか。

※合理的配慮とは、障がいのある人から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合には、負担になり過ぎない範囲で社会的障壁を取り除くため、必要かつ適当な変更や調整を行うことを言います。「障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例」では、事業者には努力義務、行政機関等には法的義務となっています。

合計	621	
名前も内容も知っている	58	9.3%
名前のみ知っている	105	16.9%
知らない	458	73.8%

■ Q9 発達障がいについて

あなたは発達障がいについて、どの程度知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	621	
どのような障がいかを人に説明できる	179	28.8%
言葉をきいたことはあるが、詳しい内容は知らない	420	67.6%
知らない	16	2.6%
その他	6	1.0%

■ Q10 障がい者の施策推進について

障がい者に関する県の施策のうち、あなたが最も力を入れる必要があると思う分野は何ですか。あてはまるものを5つまで選んでください。

合計	621	
障がい者に対する理解を深めるための啓発・広報活動の推進	260	41.9%
障がいを理由とする差別の解消、障がい者の権利擁護	249	40.1%
点字や手話など意思疎通のための手段による情報保障	176	28.3%
建物・交通機関等の整備促進	332	53.5%
障がいのある子どもの相談・支援体制や教育の充実	364	58.6%
障がいに応じた職業訓練や障がい者雇用の充実	367	59.1%
障がい者に係る在宅福祉サービスの充実	176	28.3%
障がい者に係る施設サービスの充実	176	28.3%
障がい者に対する手当や助成制度等の経済的支援の充実	174	28.0%
障がい者に関するスポーツの推進	46	7.4%
ボランティアの育成や活動への支援	120	19.3%
その他	14	2.3%
わからない	17	2.7%

